

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 佐野由希子
ソースコードID: S1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☒ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

バリエーションの違うものはまとめない方がいい

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 佐野由希子
ソースコードID: S5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 佐野 由希子
ソースコードID: S3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示すべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 佐野 由希子
ソースコードID: S6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示すべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

XEventの派生関係を調いたいなどの需要があれば(c)

判定順序: 5 (何組目のソースコードか. 1からの通し番号)
判定者氏名: 佐野由希子
ソースコードID: S4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し, 一方は無視する.
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする).
☐ (c) 別個の部品として登録するが, 相互に関連があることも登録しておき, ユーザが一方の部品を閲覧しているとき, 他方の部品も「関連部品」として提示するべきである.
☒ (d) 別個の部品として登録する.

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください.

判定順序: 6 (何組目のソースコードか. 1からの通し番号)
判定者氏名: 佐野由希子
ソースコードID: S2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し, 一方は無視する.
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする).
☒ (c) 別個の部品として登録するが, 相互に関連があることも登録しておき, ユーザが一方の部品を閲覧しているとき, 他方の部品も「関連部品」として提示するべきである.
☐ (d) 別個の部品として登録する.

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください.

判定順序: 3-1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 伊藤 正人
ソースコードID: S3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

2.75-部 異なる。 [Taradocとコード本一致
異同の5分程度は?]]

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3-2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 伊藤 正人
ソースコードID: S6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

役割が全く異なる。 (Anyの方はテンプレートとして使用?)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

派生関係で保存すべき (c)

判定順序: 3-3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 1/2 木下
ソースコードID: 54 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

機能は異なる (互いの形式)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3-4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 1/2 木下
ソースコードID: 52 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

テストケースあり, 内容 (アルゴリズム) が異なる。 集約不可

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

ソースコード ID: 57 (印刷されたソースコードの右上に記載)

だめがずいぶんか 10.9-2 名 14.5 同 -
集約は困難. 便利な方が要する

ソースコード ID: 85 (印刷されたソースコードの右上に記載)

12-195号分子，侵入机入12型鱼情高，11可能也

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 岸本 康成

ソースコードID: SS (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

・1147-2の通り
・ロジックの違い

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 岸本 康成

ソースコードID: S2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

・1147-1の通り
・異なるテスト用のコードなので、まとめて良いから不明

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 岸本 康成
ソースコードID: 56 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示すべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

- ・同じ X Event のサブクラスだが、両者の使い分けが不明

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

- ・同時に提示可能 - 関連性あり

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 岸本 康成
ソースコードID: 54 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示すべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

- ・バリエーションの違い
- ・クラスの違い

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☒ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 菅本 康成

ソースコードID: 51 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

・パリティツォの違い

・ソフトウェアの更新による変化の可能性

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)

判定者氏名: 菅本 康成

ソースコードID: 53 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
- ☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
- ☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
- ☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

・パリティツォの違い

・ソフトウェアの更新による変化の可能性

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 渡邊卓也
ソースコードID: S2 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

テストの対象が異なる。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 渡邊卓也
ソースコードID: S6 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

対象イベントが異なる
集約する意味を見出せない

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 渡邊 卓也
ソースコードID: S4 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

目的が異なる。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 4 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 渡邊 卓也
ソースコードID: S1 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

パッケージが大きく異なるので集約には慎重にならざるを得ない。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 渡辺 千也
ソースコードID: S3 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

集約は不可能ではないが相対に面倒ではないだろう。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 渡辺 千也
ソースコードID: S5 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☒ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☐ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

集約する経路という訳ではない。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由、判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に、判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3-1 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 小林隆久
ソースコードID: 54 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3-2 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 小林隆久
ソースコードID: 52 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する。
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする)。
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである。
☒ (d) 別個の部品として登録する。

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。

④ ①と②を1つにまとめる。
(e)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください。
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください。

判定順序: 3-3 (何組目のソースコードか. 1からの通し番号)
判定者氏名: 山本隆太
ソースコードID: 55 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し, 一方は無視する.
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする).
☐ (c) 別個の部品として登録するが, 相互に関連があることも登録しておき, ユーザが一方の部品を閲覧しているとき, 他方の部品も「関連部品」として提示するべきである.
☒ (d) 別個の部品として登録する.

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください.

1つは別個の部品として登録 (c) もありと見る

判定順序: 3-4 (何組目のソースコードか. 1からの通し番号)
判定者氏名: 山本隆太
ソースコードID: 53 (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し, 一方は無視する.
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする).
☒ (c) 別個の部品として登録するが, 相互に関連があることも登録しておき, ユーザが一方の部品を閲覧しているとき, 他方の部品も「関連部品」として提示するべきである.
☐ (d) 別個の部品として登録する.

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.

textPosIn a 変いはマージでよい.
isStart 1=1760175 (b)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください.

判定順序: 3-5 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 山田隆夫
ソースコードID: SI (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☒ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する.
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする).
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである.
☐ (d) 別個の部品として登録する.

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.

コードは同じ (~~ソースコード~~
1つのソースコードとして登録)

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☒ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください.

元のソースコードを削除しない 重要 (C)

判定順序: 3-6 (何組目のソースコードか、1からの通し番号)
判定者氏名: 山田隆夫
ソースコードID: SI (印刷されたソースコードの右上に記載)

議論前の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ソースコードの一方だけを登録し、一方は無視する.
☐ (b) 1つの共通部品にコードを集約してから登録する (元となったコードとの差分情報も同時に登録されるものとする).
☐ (c) 別個の部品として登録するが、相互に関連があることも登録しておき、ユーザが一方の部品を閲覧しているとき、他方の部品も「関連部品」として提示するべきである.
☒ (d) 別個の部品として登録する.

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.

~~ソースコード~~
クラス ~~カ~~ (c) と ~~カ~~ に関連があるように
見えていた. 特に ~~カ~~ では ~~カ~~ となる.

議論後の判定 (該当する□にチェックを入れてください)

- ☐ (a) ☐ (b) ☐ (c) ☐ (d)

判定理由, 判定における付帯条件 (条件次第で判断が変わりうる場合) など自由に記載してください.
特に, 判定結果を変更した場合はその理由を記載してください.